

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	桜苑 短期入所サービス事業費				
担 当 課 係 名	かくのだて桜苑 課	係	作成者	菅原文子	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画の ページ
	基本計画	高齢者福祉と介護保険事業の充実			
		主要施策	介護サービスの確保		
予 算 費 目	介護保険特別 会計	2 款 サービス事業費	1 項 居宅サービス事業費	1 目 短期入所サービス事業費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	介護保険法				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	要介護認定を受けた65歳以上の1号被保険者・特定疾病が原因で介護や支援が必要と認定された40歳以上の2号被保険者
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	介護保険法の趣旨に従い、利用者が有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営む事が出来るように支援する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	介護度に応じた施設サービス計画を作成し、利用者又は契約者の承諾のもと計画に応じた介護サービスを提供する。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	延短期入所サービス利用者	人	4,807	4,382
	成果指標	利用者 / 受入可能者数	%	82	75
投下コスト	項目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		5,324	5,002	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	5,324	5,002	
		一般財源	0	0	0
	人件費 (B)		24,922	22,379	0
		職員数	3.3	3.1	
		職員平均人件費	7,853	8,071	0
	(A) + (B) 投下コスト		30,246	27,381	0
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		6,292	6,249	
	市民1人当たりのコスト(円)		948	872	

【事務事業の今までの成果】

施設・短期利用者に個々のニーズに応じたサービスを提供している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	近隣市町村でも民営化（譲渡・委託等）に移行中である。
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	施設入所希望の待機者が増加しておりニーズも多様化してきている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	有効性、必要性は十分に認めれるが妥当性が低く B 判定となった。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定が B～D のときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

民営化が検討されている。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	介護保険施設の運営について、施設としての必要性は十分認められるが、効率やコスト面から民営化等の検討が必要と考える。

一次評価診断図

